

第40回報農会シンポジウム

『植物保護ハイビジョン — 2025』のご案内

—— 節目の第40回：激動が続いた最近20年を顧みて今後を展望する ——

趣 旨：最近の20年は、グローバルな自然災害、地球温暖化など気候変動、コロナ禍、戦禍などに加えて、国内では担い手の減少と高齢化、耕作放棄地の増加、鳥獣害の拡大などが深刻化しています。これらの解決の切り札とされる「みどりの食料システム戦略」が掲げる目標の達成には、農業政策の抜本的な転換と並々ならぬ技術革新が必須です。

言うまでもなく、植物保護が農業生産の安定と持続性の維持に果たす役割は極めて大きく、変動の時代にそぐう対策が模索されてきており、それらは本シンポジウムでも逐次取りあげ、情報の提供と情報交換の場を提供してきました。今回、第40回の節目に立ち、植物保護の主要な対象である病害、虫害、雑草害と、その対策に欠かせない農薬の4つの分野について、第一部（午前）でこの20年間に私たちが取り上げた課題の変遷を顧みた上で、第二部（午後）ではそれを受けて今後を展望します。

主 催：公益財団法人 報農会

協 賛：一般社団法人 日本植物病理学会、一般社団法人 日本応用動物昆虫学会、一般社団法人 日本雑草学会、一般社団法人 日本農薬学会

日 時：令和7年9月26日（金）10:00～16:45（会場開催のみ）

場 所：「北とぴあ」つつじホール（東京都北区王子1-11-1） URL：<https://www.hokutopia.jp>
JR 京浜東北線王子駅北口より徒歩2分、東京メトロ南北線王子駅5番出口直結

〈プログラム〉

開 会：10:00～10:10 挨拶

報農会 理事長 田 付 貞 洋

講 演：

＜第一部（午前）＞

10:10～10:35	病 害	シンポジウム開催実行委員（東京農工大学）	有 江 力
10:35～11:00	虫 害	シンポジウム開催実行委員（元農業生物資源研究所）	野 田 博 明
11:00～11:25	雑草害	シンポジウム開催実行委員（日本植物調節剤研究協会）	渡 邊 寛 明
11:25～11:50	農 薬	シンポジウム開催実行委員（元日本植物防疫協会）	中 村 幸 二
11:50～13:00	—— 休 憩 ——		

＜第二部（午後）＞

13:00～13:45	新しい土壌病害管理法「ヘソディム」の普及戦略	特定非営利活動法人 圃場診断システム推進機構	對 馬 誠 也
13:45～14:30	特殊害虫（侵入害虫）の現状と関連する研究及び今後の課題	岡山大学 農学部	宮 竹 貴 久
14:30～15:15	道路、河川敷、空地等における雑草管理の現状と農耕地に及ぼす影響 —— 外来雑草に関する話題を中心に ——	公益財団法人 日本植物調節剤研究協会	村 岡 哲 郎
15:15～16:00	農薬登録における最近の評価の動向と今後の展開	独立行政法人 農林水産消費安全技術センター 農薬検査部	入 江 真 理
16:10～16:45	総合討論		

参加費：3,000 円（講演要旨集を含む。ただし、講演要旨集のみ購入の場合 2,000 円）

申込み：報農会ホームページに掲載しております『開催要領』をご覧の上、申込用紙に必要事項を記入して、メール又はFAXでお申し込みください。

なお、シンポジウム終了後同じ会場で、報農会主催第40回功績者表彰式を行います。

（17:00～17:50 功績者表彰式、表彰式終了後祝賀会：参加費 5,000 円）

連絡先：公益財団法人 報農会 事務局

TEL/FAX：03-5980-8773 E-mail：khono511@car.ocn.ne.jp URL：<https://honokai.org>

功績者表彰式のお知らせ

シンポジウム終了後同じ会場『つつじホール』において、植物防疫の発展に寄与された功績者の表彰式を開催いたします。お時間の許す方は是非ご出席の上、祝福を賜りたくご案内申し上げます。

なお表彰式終了後、祝賀会を北とぴあ 17 階のレストラン『QUAD17』で開催します。

開催日時：令和 7 年 9 月 26 日(金) 17:00～

開催場所：北とぴあ「つつじホール」

第 40 回功労賞受賞者 (5 名：五十音順)

池 田 信 氏 (いけだ まこと)

職 歴 北海道農業改良普及員，同農業試験場専門技術員，上席普及指導員等

業 績 ○アスパラガス斑点病の防除技術の確立及びその普及に貢献。

○カボチャ果実斑点細菌病の発生原因究明及び防除対策に関与。

○病害虫担当の専門技術員として普及職員と研究職員をつなぐ活動に尽力。

内 田 又左衛門 氏 (うちだ またざえもん)

職 歴 日本農薬株式会社，農薬工業会（現クロップライフジャパン），緑の安全推進協会等

業 績 ○農薬の作用機作や代謝研究に従事し，その製品化に貢献。

○農薬工業会安全対策委員長として農薬適正使用の徹底を目指した活動に尽力。同会事務局長として会の効率的運営及び業界の発展にも尽力。

木野田 みはる 氏 (きのた みはる)

職 歴 青森県農業試験場，同病害虫防除所，同りんご試験場等

業 績 ○りんご園での薬剤散布がハダニの発生に与える影響の調査に尽力。

○斑点米カメムシ類のすくい取り調査や予察灯を用いた注意報発表に貢献。

○オオモンシロチョウ，アシグロハモグリバエなど新発生害虫の調査に寄与。

金 城 美恵子 氏 (きんじょう みえこ)

職 歴 沖縄県農業試験場，同庁専門技術員等

業 績 ○カンシャノシンクイハマキの性フェロモンに関する研究に尽力。

○本種の大量無菌飼育法の確立，性フェロモンの活性物質の同定に貢献。

○フェロモントラップの開発，発生予察調査に寄与。

中 山 喜 一 氏 (なかやま きいち)

職 歴 栃木県農業試験場，同庁専門技術員，同庁農業革新支援専門員等

業 績 ○新病害トマトフザリウム株腐病の発生生態の解明，防除技術の開発に貢献。

○ユウガオのウイルス病の発生実態の解明及び防除技術の開発に寄与。

○専門技術員（農業革新支援専門員）として効果的な防除法の普及に尽力。